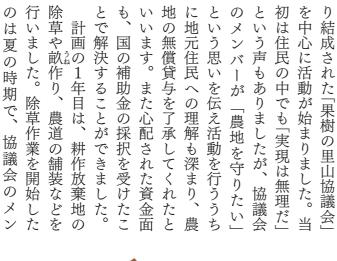


長い間人の手が入らず雑草が生い茂っ たエリアもあった耕作放棄地を、多く の人の手で除草し果樹が植えられるよ



草や苗植えを行い

現在では12品

どもたちなど、多く

の苗およそ230本を植えまし

畝作りが終わった1年目の秋 イチジクや栗、柿などの果樹

た。この苗植えにも、大学生や子



クを使って、ジャムやドライフルーツ などの加工品の販売を開始。





実が実るようになり、 たくさんの人が

元していまで加工品を市内やい力である。地元の直売



完成した拠点施設「里山ベース」。

果物狩りや直売市など、果樹の里は、地域内外から訪れた参加者がイベント「果樹の里山まつり」で 内外の人とつながる場所に姿を変 また、協議会が初めて主催したことができる施設となりました。 刀あふれる取り組みに注目です。 人が集い、果樹の里山を楽しむ 河内集落は耕作放棄地だった場 今後も果樹の里山の活 元気に

多面的機能支払交付金のご案内 農業・農村活性化のための交付金をご活用ください!

間 本庁舎農村整備課 🐔 0857-30-8316 🗐 0857-20-3043

地域共同で行う、多面的機能を支える活動や、地域資源(農地、水路、農道など)の質的向上 を図る活動を支援します

【対象となる組織】 農業者およびその他の人(地域住民、団体など)で構成される活動組織など

- 農地維持支払…農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持など
- 資源向上支払…水路、農道、ため池の軽微な補修、景観形成や生態系保全、鳥獣被害防止対策など 老朽化が進む水路、農道などの長寿命化のための補修など

※詳細は問い合わせ先、または右の QR コードから本市公式ホームページでご確認ください。



進めてきた5年間地域や学生と協力

らが炎天下でも連日作業を行

地域住民や



実る果実 集う人



~耕作放棄地からにぎわいを生む果樹の里山へ~

農業を営む人の高齢化や後継者不足による「耕作放棄地」が全国で増加してい

ます。そんな耕作放棄地を地元住民や学生らが協力し、地域内外の人が集まる場 所へと生まれ変わらせた、鹿野町河内集落の「果樹の里山」を取材しました。

んしゅう鹿野まる地域住民と行政、 景が失われることを何とか食い止 どまらず、「也ずっこ、無地を果樹園へ転換するだけにと無いる中で、耕作放 話し合いました。 を果樹園に生まれ変わらせようと めようと立ち上がり、 た。そんな状況の中、 作放棄地に危機感を感じていまし 河内集落の住民も、増えていく耕地は本市でも課題となっており、 とが懸念された場所でした。 き家活用による滞在交流施設の整 に」「果樹を使った商品開発」「空 全国的に増加している耕作放棄 農地が荒廃し、 ゅう鹿野まちづくり協議会_ 「地域全体を体験農園 地域一帯ににぎわ 耕作放棄地になるこ N P 豊かな農村風 増えていく耕 O法人 耕作放棄地 平成26年に

